

初代市長に大垣隆氏

下野市長選挙が2月5日告示され、
下野市初代の市長として、大垣隆氏が当選しました。

思いやりと交流で創る
新生文化都市を目指して

立候補者には旧国分寺町長の大垣隆氏のほかに届出がなく、2月12日の選挙会において、大垣隆氏が当選人と決定しました。任期は平成18年2月12日から平成22年2月11日までの4年間になります。

2月12日(日)、選挙会で当選が確定した大垣隆氏に上野友明選挙管理委員長から当選証書が渡されました。

翌13日(月)、大垣市長は、多くの市民や市職員が見守るなか初登庁し、国分寺庁舎正面で花束を渡されると大きな拍手がおこりました。

国分寺庁舎前で行われた就任式では「しっかりと市民の声に耳を傾けて、民意を反映した市政に取り組み、早く6万市民の融和を図っていききたい。」と挨拶した大垣市長。

その後、国分寺公民館内で職員への初訓示が行われ、「新市建設計画に基づき、できるだけ早く具体的な下野市の将来像を示す振興計画を策定して市民に示し、市民生活に影響を及ぼす条例の制定、大きな事業計画にはパブリックコメント等を活用し市民とキャッチボールしながら進めたい。また、道徳教育を推進し、人によさしい、人の痛みがわかる子育てを、家庭だけでなく学校、地域、行政が一体となつて進めていきたい。」とし、職員には「チームワーク・フットワーク・ネットワーク」、そして市民に対する「親切・優しさ」をもって職務にあたってもらいたいと訓示しました。

宇賀持正紀
市長職務執行者
が退任

新市が発足した1月10日から、市長が決定した2月12日までの間、市長代理として務められてきた宇賀持正紀市長職務執行者の退任式が2月10日、国分寺庁舎で行われました。

下野市誕生から約1カ月、市制への円滑な移行に努められた宇賀持氏。感謝の花束が贈られるとともに、大勢の職員等からの拍手に送られ、庁舎をあとにしました。

